

新山協ニュース

▲ 発行者 平田 大六 ▲ 発行所 新潟県山岳協会
〒940 長岡市学校町1-12-23 室賀輝男方 TEL 0258-32-0428

平成2年度 日山協 指導委員総会の報告

指導副委員長 田 中 栄 弘

6月10日(日)、東京の岸記念体育館4階会議室で開催されました。まず日山協沢村副会長の挨拶があり、大曾根指導担当理事の司会により、各岳連(協会)の指導委員会報告、計画指導状況に入りました。遭対訓練とタイアップしておる県。机上講習に重点を入れておる県。指導員検定を受ける前に予備講習をしたり、2年から3年岳連への協

北信越国体成績

- 成年女子 3位
 - 少年男子 4位
 - 少年女子 3位
- ご苦労様でした。



フックン

度(Ｃ級地域スポーツ指導者)が平成2年5月23日認可になり、受検資格は満20才以上の

自然公園の保全で

室賀協会長 表彰

環境庁は7月21日、自然公園の保全に功績のあった当協会長室賀輝男氏の長官表彰を発表した。
8月1日に福井県・三国町の海浜自然公園で開かれた第32回自然公園大会で表彰された。
室賀協会長は上信越高原

者で、山岳の実践的指導に当たっている者で日本体育協会の定めた共通科目(7教科、40時間)を、各県体協で主管する講習会を受け、又専門科目は日山協の定めた専門科目を三科目、40時間受講、試験を受けなければならない。特に今回の専門科目は暫定措置による資格移行により、講習、試験の免除があります。来年度はありません。受講料、共通科目6000円、専門科目6000円になります。日山協の指導員と違い、国の文部省認定の地域スポーツ指導者

らで、おかないと、国、県、市町村の共催、主管する行事に、資格のある社会体育指導者がおらないと、役所の協力、補助等の問題があることが考えられます。皆様、案内・連絡がありましたら是非講習を受けられたら良いと思います。話は変わりますが、第2種指導の各期山歴の日数を明確にしたいとの話が出ております。現在は冬山経験5年以上ととなっておりますが、1年に1泊2日か2泊3日位の山行を5年やっている方よりも、ヒマ

いる方が力量があるのでないか。1年の日数が、冬期は10日/15日位入山してはどうか。指導員になるには最低の入山数ではないかとの意見もありました。1種指導員の検

定論文を変えてはこの話も出ておりました。

3時過ぎ閉会になり、指導員の活動状況把握、検定会、点数制度、会費の督促及び各種情報の提供等いろいろと考えながら帰路に着きました。

自然保護に思う

最近自然保護に関する出来事を2度経験した。1つは、原生林の夕べ」でありもう1つは、当会で行った「第9回自然保護研修会」である。この2つの内容より印象に残った話などを書きながら、自然保護についての考えを記したいと思う。

また、人間は地球という生命体にとりついた癌だとも言う。人間という癌は、数万年という歳月で膨大に膨れ上がり、地球という生命体のあちこちに転移している。地球の養分を食い尽くし、自分たちの住み良いように、自分たちを増やす為に地球を変えている。しかし、地球生命体が死んでしまえば、そこに住み着いた癌も死滅してしまう。人間はやっぱりこのことを知ったのだ。

また、人間は地球という生命体にとりついた癌だとも言う。人間という癌は、数万年という歳月で膨大に膨れ上がり、地球という生命体のあちこちに転移している。地球の養分を食い尽くし、自分たちの住み良いように、自分たちを増やす為に地球を変えている。しかし、地球生命体が死んでしまえば、そこに住み着いた癌も死滅してしまう。人間はやっぱりこのことを知ったのだ。

自然破壊が始まったのは、そもそも人間が文明を持ち始めたのが原因らしい。野生動物のように弱肉強食の世界では、自然破壊など起こりやうがない。その日暮らしのブーゲンビル島の原住民はけっして楽をしようとしないうし、ぜいたくもしない。食するだけならジャングルで生きていけるのだ。人間が楽をしようとして道を作り、家を建て、川を塞ぎ止める。自然破壊を止めるには文明を否定せざるを得なくなる。ブーゲンビル島の人

自然破壊が始まったのは、そもそも人間が文明を持ち始めたのが原因らしい。野生動物のように弱肉強食の世界では、自然破壊など起こりやうがない。その日暮らしのブーゲンビル島の原住民はけっして楽をしようとしないうし、ぜいたくもしない。食するだけならジャングルで生きていけるのだ。人間が楽をしようとして道を作り、家を建て、川を塞ぎ止める。自然破壊を止めるには文明を否定せざるを得なくなる。ブーゲンビル島の人

両先輩の近著を読む

筑木力

「季節風」より
加治川山の会

論考・随想・紀行・記録など、あとがきの構成。弥彦山登山の先達、藤島玄氏と花井氏が語る回想には、歴史の重みがある。登拝道の状況と滝ノ沢登攀などは、往時が偲ばれ懐かしい。弥彦山塊三山縦断紀行4編は、各執筆者がそれぞれ四季折々の、この山の情趣を活写している。山崎幸和氏が描いた、弥彦山頂から見た越後の山々の展望図は、14年をかけた労作。ほかに郷土の偉大な岳人高頭仁兵衛にまつわる記事や、弥彦山を訪れた著名登山家のプロフィール紹介なども興味深い。最後は花井氏と鈴木彦雄氏（元弥彦神社権宮司）が、弥彦山と万葉集の関わりを論考している。

花井馨編著「青雲の弥彦山」のほぼ大正から昭和に亘る歴史と変貌の姿を、登山に関するテーマだけに絞って本書をこよなく愛する花井氏の情熱と、山と人の関わりを深く観察する笠原氏の心眼に、私は大きな感動を覚えた。

花井氏は登山家と万葉集研究家としての立場で、弥彦山

「青雲の弥彦山」のほぼ大正から昭和に亘る歴史と変貌の姿を、登山に関するテーマだけに絞って本書をこよなく愛する花井氏の情熱と、山と人の関わりを深く観察する笠原氏の心眼に、私は大きな感動を覚えた。

花井氏は登山家と万葉集研究家としての立場で、弥彦山

の紀行と、随想6編と、登山年譜から成る。豊かな感性に裏付けられた淡々たる叙述の随所に、氏の飾らぬ人柄が滲み出ている。

私が拝読して感銘を受けた箇所は数え切れないが、自然と人間とが関わる事象に向ける、氏の深く広くしかも暖かい心眼に文句なく圧倒された。

「困難な登山をいかに立派に成し遂げたかを吹聴する自慢話より、不測の事態をどう臨機に切り抜けたかを打ち明ける失敗談の方が、よっぽど価値がある。」と氏は言う。これが本書を一貫する氏の信条である。それに最近の登山事情の問題点を指摘する氏の舌鋒も辛辣で容赦がない。

駒ヶ岳19座の遍歴は驚異だ。私などまだやっと7座しかない。山にも魚や野菜のように旬がある。山の個性をよく研究して旬の魅力を味わうには、越後の春山が最高と説く随想は楽しい。

そして何よりも、氏自身が山で危機に陥ったとき、失敗をどうカバーしたのかも含めて対処した体験を、自らの信条

通り卒直に打ち明けている点で、本書は凡百の登山書に勝る価値があると言いたい。

笠原氏は自分の登山人生をふり返り、悔いはなかったと断言し、奥様の内助に感謝し

私の好きな山の花 ③

ヒメサユリ

下條 莊 一

世の中には、一目見ただけで、「オッ」と生唾を飲むほどの美人と、さほど目立たず容姿もそれほどでないが、見れば見るほど美人だと思つてくる女性があると思う。高山植物はすべて後者の方で、一目見てこれは美しいと思うものはない。生唾を飲むほどの美人はほとんど人工的に作られたもので、切花にして2〜3日楽しむだけでいいのだ。

ヒメサユリは本当は美人な花である。しかし、藪の中わざと目立たないようにひっそり咲いている。稜線より少し外れて、熊笹の中に2〜3株、人目をしのぶかのように咲く姿が男心をくすぐる。薄ピン

クの花、うつむきかげんに咲く清純なムードからオトメウリとも呼ばれているそうだ。私は独身女性と酒を飲む時、よく言うジョークがある。あるいは飲み会の時も、宴が進みメーターが上がつてくると、私を取り囲んでいる女性群に得意のジョークを飛ばし始めた。例によつて、とある女性に「田んぼを売ってマンション買ってやるから、俺の2号に

なれ。」と毒舌を飛ばしはじめたのである。2人つきりで耳元でささやくのであれば、これは大変な出来事であるが、大勢の前で大声で言うのだから、「また下条ラッパが始まったな……」と笑いながら聞

「青雲の弥彦山」、「樺林私の山旅」の両書とも、それぞれ著者の持ち味を存分に湛えた秀作で、新潟県岳人の業績を江湖に示す文献である。

いってくれるはずだったが……つぶれて意識不明の危篤状態で送りつけられたことは言うまでもない。

あの出来事以来、彼女と飲み会があつても、このジョークだけは言ったことがない。あの夜はたしか、夢の中で彼女と飯豊に咲くヒメサユリとをオーバーラップさせていたように思う。

その夜は悲酔いしてしまい、

那須岳、17m高かった

国土地理院 41の山の標高を修正

栃木県・那須岳の高さは、実際は表記の1898mより17m高く、石狩岳(北海道)も1m高い。建設省国土地理院(茨城県つくば市)は1989年度から、全国の主な山を対象に正確な標高を測る調査を続けているが、15日、中間報告を発表した。

それによると、調査した624の山のうち41の山で標高が異なっていたことが分かり、修正するほか、正式な呼称がなかった北海道静内郡静内町の通称「1839(いちはち

(新潟日報より)

海外登山隊メンバー決まる

海外登山委員会が、8月16日(日)から9月2日まで、パキスタン北部のパンジャブ・ヒマラヤに初遠征をし、マゼノ峠(5360m)とシャイギリピーク(5971m)を目指します。

メンバーは、5団体12人で、田中純夫・本間正博(以上)です。

悠峰山の会)、阿部信一・阿部一人・阿部陽子・斉藤明美・五十嵐欣也・村山秀人・阿部修一(以上、新潟山岳会)、山名尚美(テラシネ山の会)、加藤いずみ(九期山の会)、外丸辰雄(山岳同好会新潟望遠)。

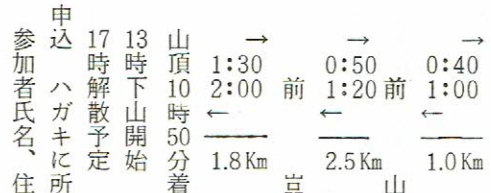
登山の成功と安全を祈ります。

荒沢岳親睦登山案内

主催 新潟県山岳協会
 主管 奥只見山岳会
 日時 平成2年10月13日(土)~14日(日)
 山名 荒沢岳(1968.7m)
 宿舎 北魚沼郡湯之谷村銀山(15名収容)
 小屋が小さいので各自、車又はテント泊の用意もお願いいたします。伝之助小屋手前のカマボコ型小屋です。

装備 日帰り秋山装備(雨具、水筒、朝・昼食他)
 シュラフ、テント、懐中電灯(ザイルは不要)
 会費 800円(通信費、協会負担金他)
 親睦用品は含みません。

日程 13日(土) 19時受付、親睦会、22時就寝
 14日(日) 6時30分出発



新潟県スポーツ振興基金 募金の協力について(依頼)

日頃、当協会の諸事業については、格別の御協力をいただき厚くお礼申し上げます。当協会のスポーツ振興基金の造成につきましては、既に御通知申し上げましたとおり、残念ながら所期の目標額を達成することができず、募金期間を1か年延長する異例な事態に至り、7月6日に理事会を開催し、残された短期間内に1億1200万円の募金活動

運動をどのように展開すべきか、あらゆる角度から検討し、県体育協会の組織を挙げての募金取り組みを再確認したところでございます。

つきましては、募金目標額の達成の成果が本県のスポーツ振興、競技力向上に大きく左右することについて御理解と寛容をいただき、御協力をいただけない種目別競技団体からは御協力を、また、既

年齢等を記入して左記宛に申し込み下さい。

新潟県山岳協会宛
〒940
長岡市学校町1-12-23
室賀輝男宛

問合わせ 奥只見山岳会事務局 湯之谷村役場 佐藤明美方
☎02579-121122

その他 懇親会の飲食物は、各自地元特産品を持参下さい。

※寄附金は協会事務局でまとめて一括納入します。

納入先
新潟県山岳協会普通口座
第四銀行長岡駅東支店
口座番号1116600

登山用品専門店

信頼できるパートナー

大新スポーツ

新潟市東堀6 ☎(025)222-3736